



教養プロジェクト：小説編

経済学科 2年 神谷昌吾

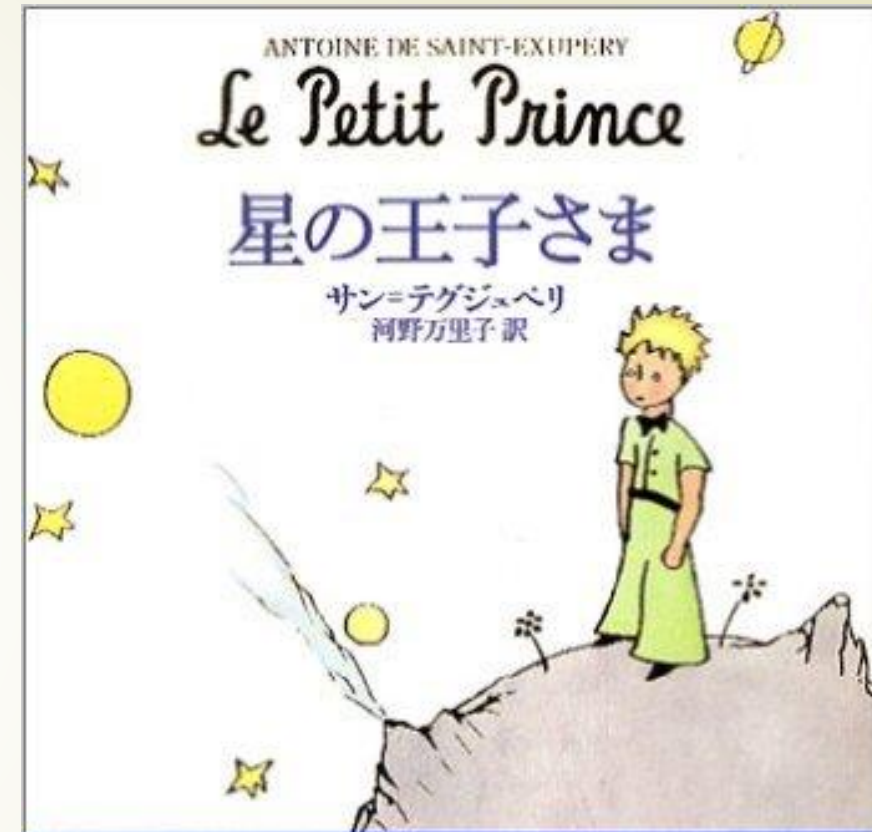


目次

- 1 : 星の王子さま (サン＝テグジュペリ)
- 2 : 変身 (フランツ・カフカ)
- 3 : 伊豆の踊子 (川端康成)
- 4 : オペラ座の怪人 (ガストン・ルルー)
- 5 : こころ (夏目漱石)
- 6 : あしながおじさん (ジーン・ウェブスター)
- 7 : 蟹工船 (小林多喜二)
- 8 : ロリータ (ウラジミール・ナボコク)
- 9 : トム・ソーヤの冒険 (マーク・トウェン)
- 10 : 異邦人 (カミュ)

1 : 星の王子さま (サン=テグジュペリ)

- 1943年アメリカで出版
- 「ぼく」と小さな惑星からやってきた王子さまの物語



☆ これまでで
最も愛らしく、
毅然とした
王子さまが、
優しい日本語で
よみがえります。

世界中の子供が、そして
大人が読んできた。
世紀を超えるベストセラー！

カラー版
たて組

新潮文庫の
新刊
Yonda?

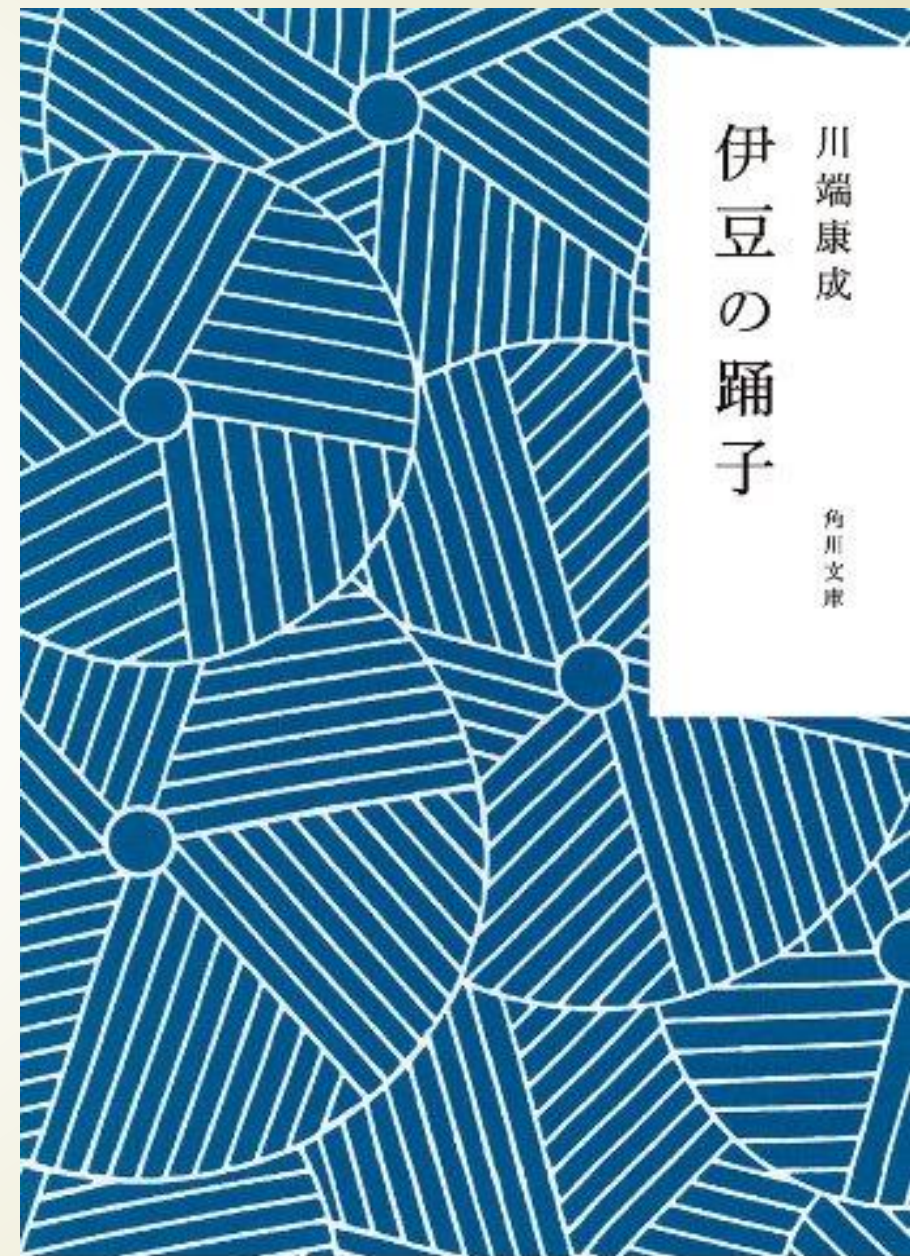
2 : 変身 (カフカ)

- 1915年出版
- 目覚めると虫になっていた男とその家族の物語



3 : 伊豆の踊子 (川端康成)

- 1927年に出版
- 著者の実体験を基にした作品
- 踊り子の少女に恋をする青年の物語



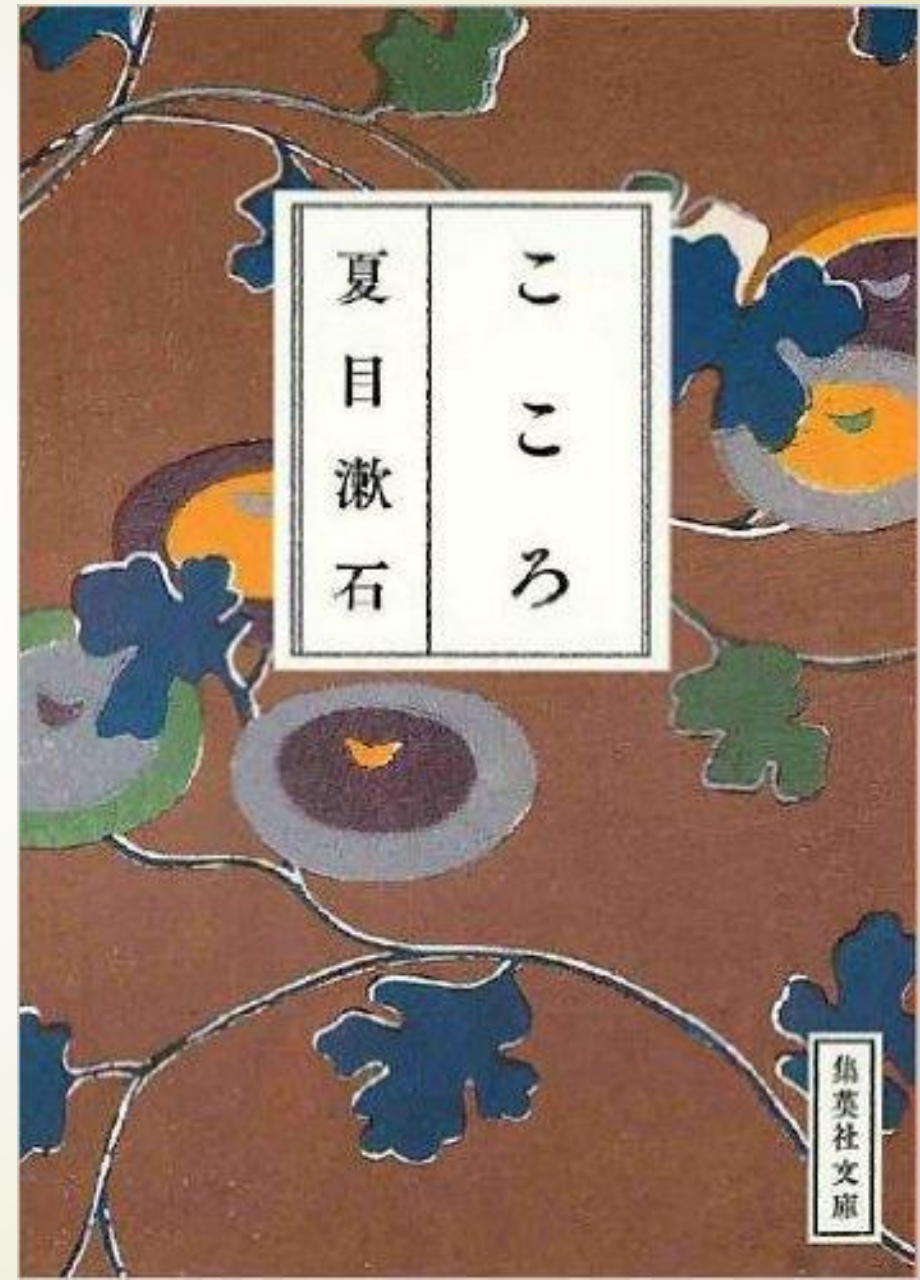
4 : オペラ座の怪人 (ガストン・ルルー)

- 1909年に出版
- オペラで起こった史実を引用した作品
- ミュージカル作品としても有名



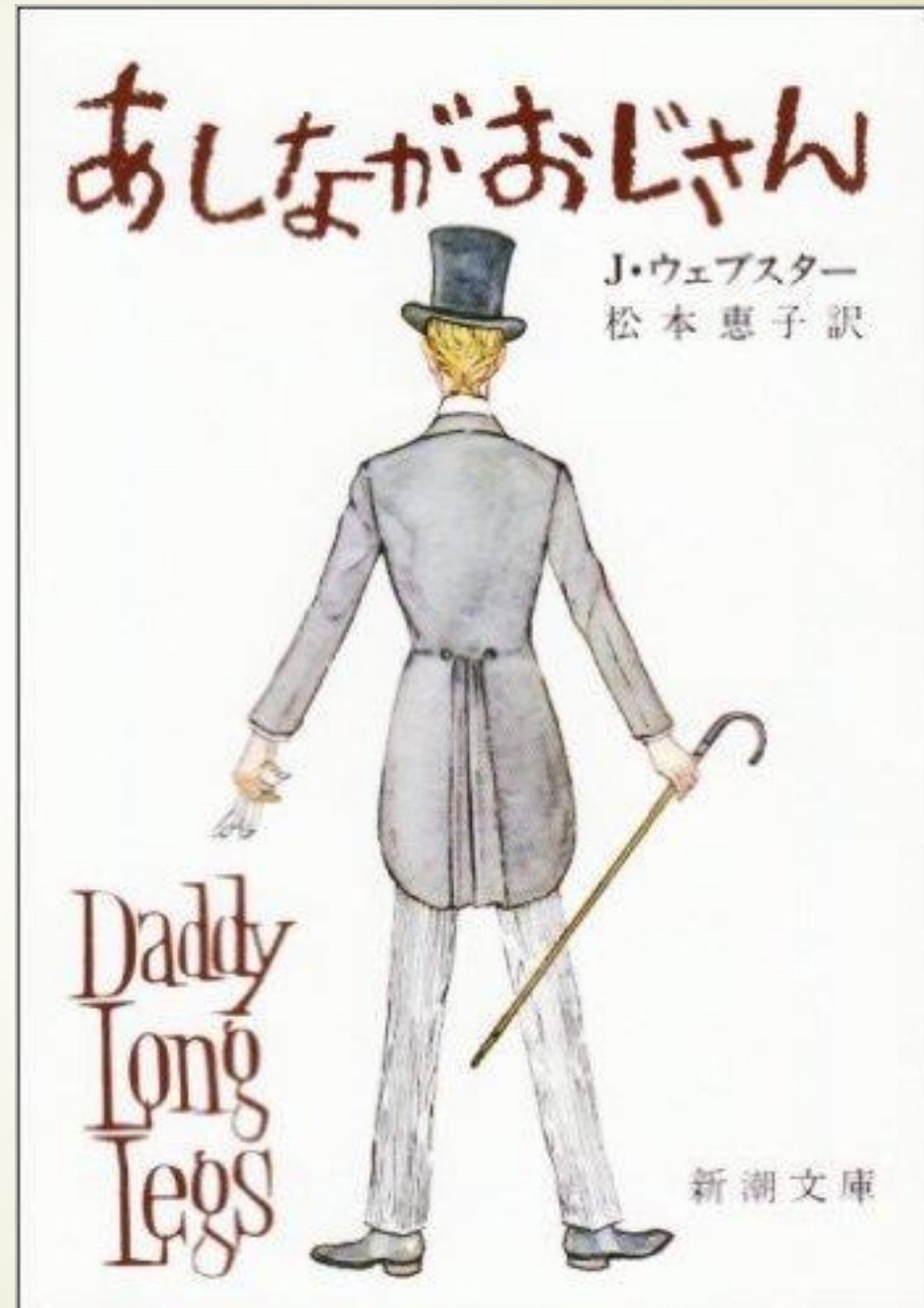
5 : こころ (夏目漱石)

- 1914年に朝日新聞に掲載
- 『彼岸過迄』『行人』
と並ぶ後期三部作



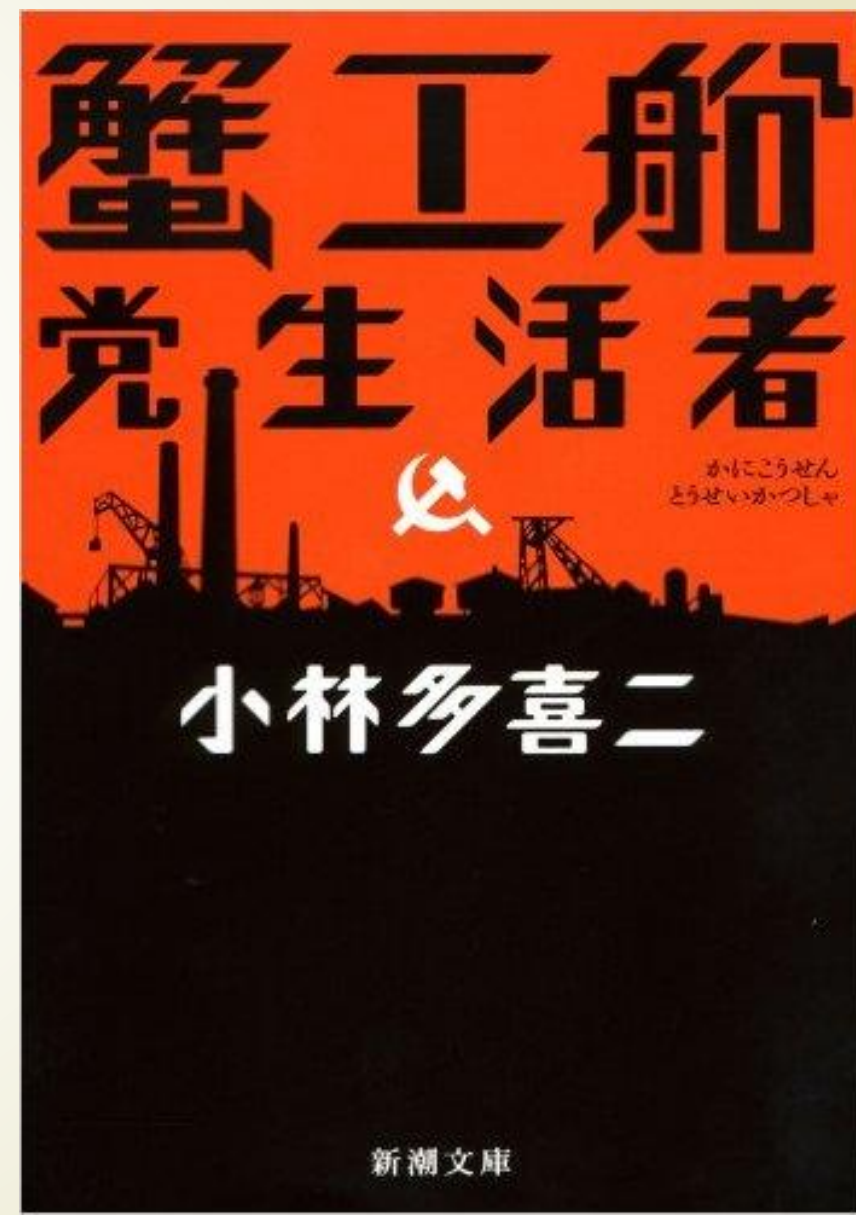
6 : あしながおじさん (ジーン・ウェブスター)

- 1912年に出版
- ほぼ全文が手紙形式



7 : 蟹工船 (小林多喜二)

- 1929年に発表
- プロレタリア文学の代表作



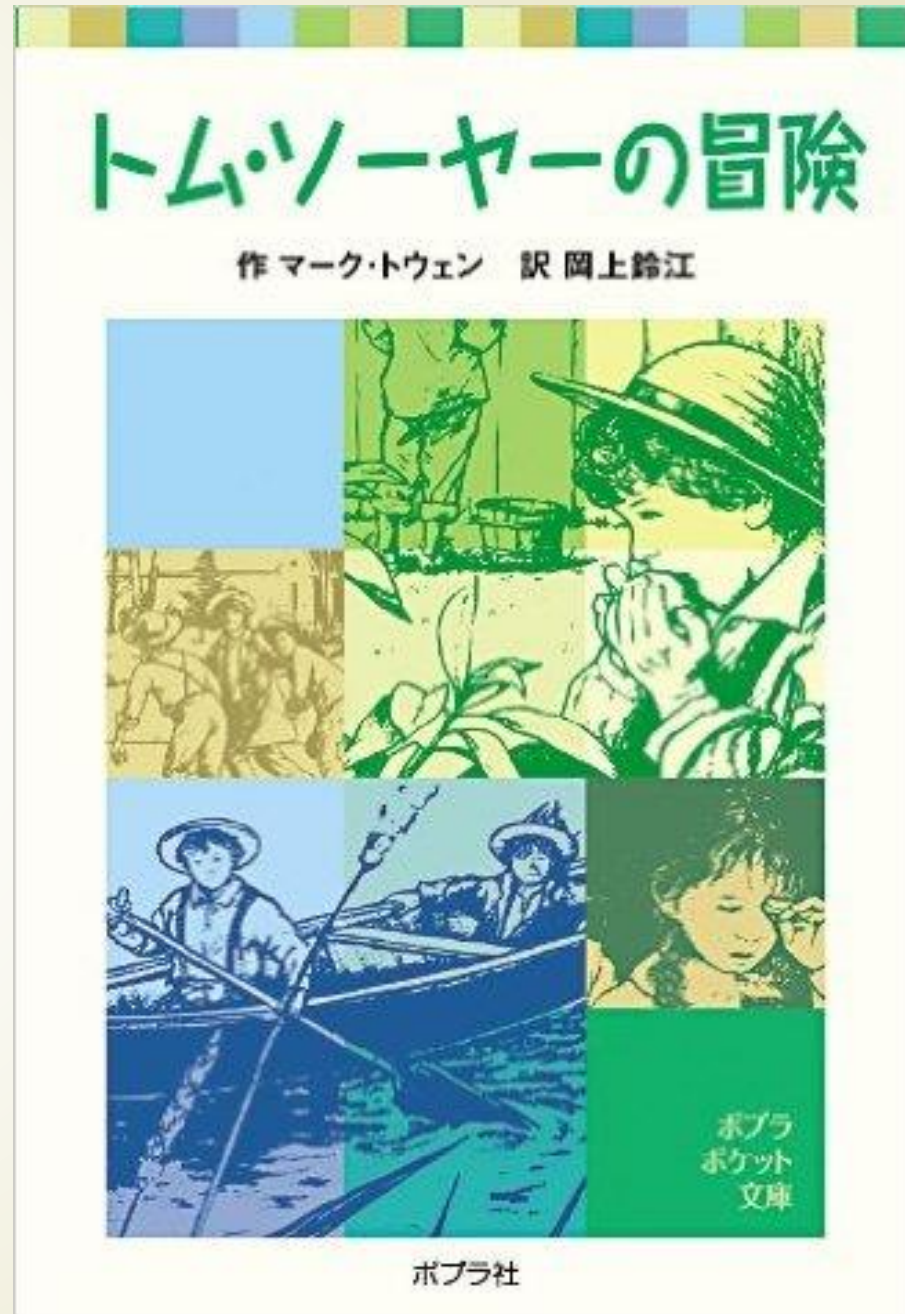
8 : ロリータ (ウラジーミル・ナボコフ)

- 1955年刊行
- 難解な文章で評価が分かれる



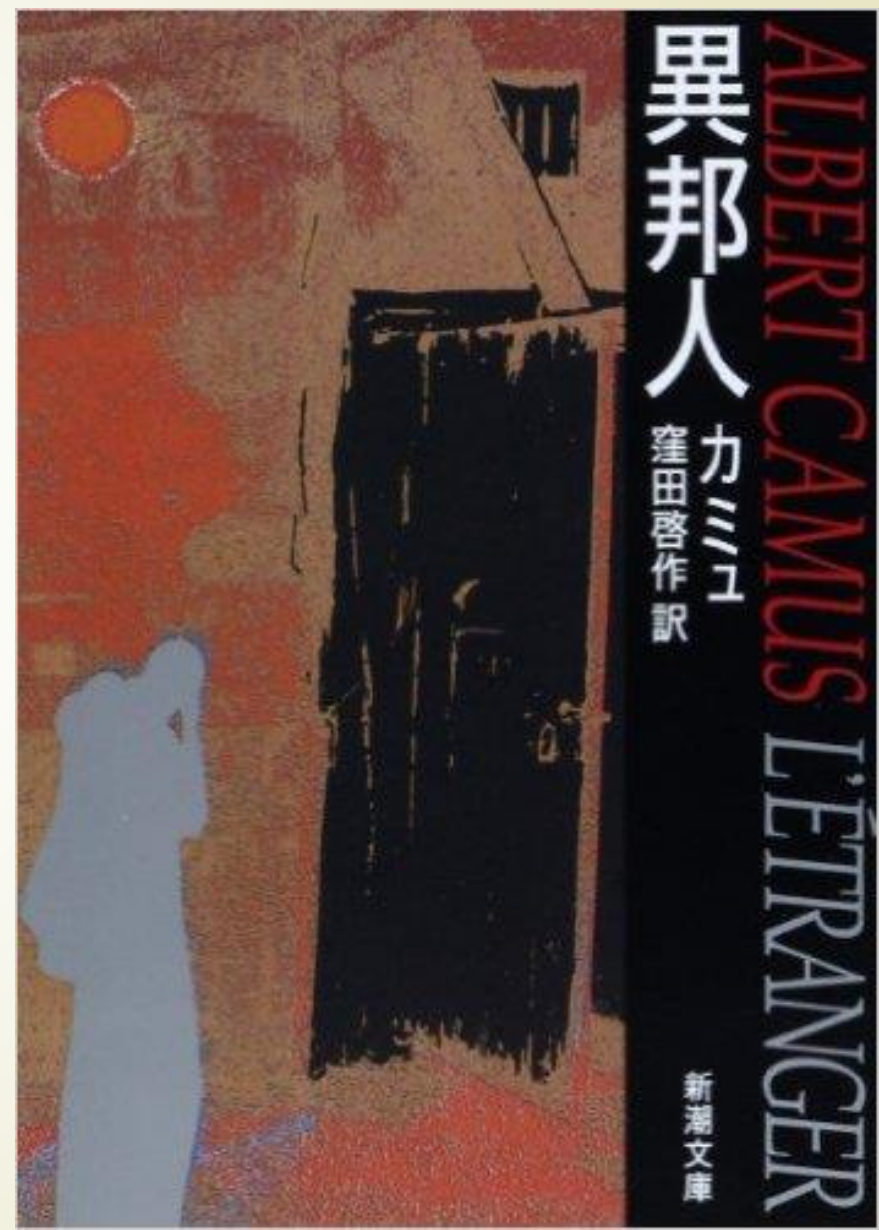
9 : トム・ソーヤの冒険 (マーク・トウェン)


- 1878年出版
- 続編も存在し、注目を集める

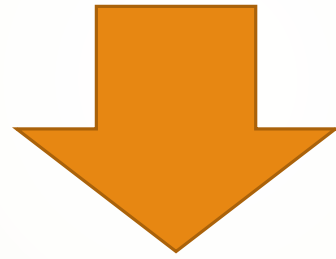


10：異邦人（カミュ）

- 1942年刊行
- 人間社会の不条理を風刺



- 
- ・ 母親の死を前に涙を流さない
 - ・ 葬儀の翌日にたまたま旧知の女性と情事にふける



全く関係のない裁判で人間性を批判され、
死刑